

事務事業 No./名 称	■サービス部門 消防-09 消火栓管理事業						
	□支援部門						
主管課	警防救急課			関連課			
分野名	地域安全						
目標 (目標値)	火災、各種災害等に対応できるよう、消防施設の維持管理を行う。						
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考		
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
	事業の対象者数						
運営資源 状 況	決算値(千円)	9,441	8,594	1,542			
	(国・県)			119			
	(負担金等)						
	(一般財源)	9,441	8,594	1,423			
	人員配置数	1.0	1.0	1.0			
	人件費(千円)	8,138	8,836	9,184			
	協働の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	17,579	17,430	10,726			
	市民1人当 りの経費(円)	99	98	61			
	対象者1人 当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒						
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
消火栓管理事業の達成率	◎	目標値	100%	100%	100%	100%	100%
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24 決算値	評価 適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)					⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止							
消火栓管理事業	9,441千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	☐ A	☒ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要	消火栓の維持管理													
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	定期的に点検を実施し、維持管理に努める。		
課題解決のための取組	水道営業所と連携し維持管理に努めた。	取組の結果	■解決 □未解決
未解決の課題	消火栓の設置及び管理等に関する協定書に基づき点検を実施し、課題等なし。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価と今後の方向性							
中事業の評価	適切○ 要改善△ (評価の視点を参照) ➡	①効率性	○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続C: 改善・見直しD: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了	
		②妥当性	○		引き続き消火栓の維持管理に努め、消防の責任を果たす。	↓ B	課長等名
		③有効性	○				
		④公平性	○				警防救急課長 芥 川 忠

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
消火栓管理事業	主な個別事業	235 消火栓の維持管理	9,518	9,202	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							